

東邦大学医学部 テクノシリーズ

2011年
12月15日^木
必勝の開幕

08~11年度 本科生合格実績
東邦一次合格累計37名 最終合格23名
ウインダムは東邦大学医学部入試に断然強い!

速習ステージの72指導時間で
知識や傾向を獲得(年内)

テクノシリーズの32時間で
解答力・実戦力を育成(年明)

正規合格を実現するために、 必要な全てがここにあります!

東邦大学医学部入試の特徴

東邦大学医学部の問題形式は、マークシート方式であり、全科目にわたり基礎～標準の難易度で構成されています。ただ、問題数が大量なので、試験時間内に全問処理できるかが、一次突破の最低条件になり、さらに正規合格を狙うのであれば下表のように高得点を奪取しなければなりません。

	英語	数学	化学	生物	物理
正規合格の得点例	65~75%	80~90%	70~80%	70~80%	80~90%
一次合格のみ得点例	65~75%	70%	60~70%	60%	60~70%

〈ウインダム本科生、過去12年間受験直後のヒアリング調査から〉

また、東邦入試での特徴的な要素に、教科別による配点の違いがあります。英語150点、数学100点、物理・化学・生物各75点という点数配分は、明らかに英語と数学の能力がある受験生を求めているものであり、結果、現役生が受かりやすくなっています。※理科2科目完成は、現役生には非常に難儀です。よって大学側は英数に得点の比重を置くことで、理科の得意な浪人生との得点の差を縮め、現役生に有利に働きかけているものと考えられます。

東邦大学医学部の入試動向

2008年度までは、昭和・東邦・川崎医科の入試が同日に実施されていたため、記述に自信のある上位層や正規合格狙いの国公立受験者が昭和へ流れ、自動的に東邦の受験者はトップレベルの学力を持たなくとも戦えました。しかし、2009年からは同日入試の大学が川崎医科だけになったため、昭和・順天堂・東医を第1志望とする強者が躊躇なく受験できるようになりました。さらに学費の減額も加わって、その影響は、受験者数の増加だけに留まらず、受験者層にも変化があると考えるのが妥当でしょう。以上のことから2012年度の東邦大学医学部入試競争も熾烈を極めると予想されます。

東邦大学医学部テクノシリーズ

医学部予備校ウインダムでは過去の合格者のデータから、合格のボーダーラインを75%以上と認識しています。つまり高得点争いは必至であり、学力があってもケアレスミスひとつで合格を逃してしまう可能性は否定できません。しかし、逆に迅速な計算力と教科書程度の知識が確立していれば、難しいことを知らなくても一次突破は十分に可能であるということです。ただ、確実に正規を狙いたいのであれば、プラスαが必要。それを本講座では教授します。

東邦網羅に当たっては、理科出題ルールや医系英語、数学小問など大学傾向に特化した対策を十分にこなさなければなりません。テクノシリーズは年内の速習ブロックで必須事項を集中的にインプットし、年明けのテクノブロックでテストやドリル形式の問題演習を通して、解答力や実戦テクニックなどを養成、必勝の態勢を整えていきます。

Windom
医学部予備校ウインダム

東邦医学部合格へのルールを 究める!



東邦英語特講

東邦の英語は、試験時間に対し問題量が多く、医学用語を含めた高い語彙力が要求される問題が多いのが特徴です。出題内容は長文を中心に、単語・内容・空所補充中心のオーソドックスな問題です。長文は近年3~4題ずつ出され、内容は医学関連のものも多く、これを読破するためには、必修受験単語2000と医系単語500の獲得が必要でしょう。ちなみに生物選択者有利の長文も出題されることも稀にあり(03年)、予断を許さない教科といえます。

テクノシリーズでは他の医科大の問題も含め、医学系の内容の英文読解練習を重ねて、医学の基礎知識や医学用語を習得し、速読力・文法力まで幅広く学習していきます。

2011年度の傾向

長文: 2011年のトピックは、[I]が耳鳴り、[II]が体内時計、[IV]が乳ガン手術を受けた女性の心情、[V]がブタインフルエンザ、[VI]が自閉症で、一昨年は、[I]が緑内障、[II]が化学療法、[IV]がリンパ腫にかかった少年を仲間たちが励ます話、[V]が妊婦や授乳する女性と魚の摂取の話、[VI]がアルツハイマーについてで、昨年の[V]と一昨年の[IV]で、長文の下線部が文の意味内容にまで拡大されこの傾向が続くかと思われたが、今年は単語と熟語だけに戻った。

文整序: 本質は変わっていないとはいえ、一昨年、昨年、今年と見た目の形式は明らかに変化してきている。東邦英語の大きな特徴の一つである文整序で個性を出そうとしている意図が感じられる。

正誤問題: 10問くらいが適当だと思うので、増える可能性がある。(2011年は5題)

東邦数学特講

東邦大学医学部の数学は大問2題。マーク方式。

1は小問集合で全10問。すべての分野から万遍なく出題されています。

数I・Aからは三角比、2次関数、場合の数が多く出題され、数IIからは、三角関数、指数・対数関数、方程式が毎年出題されています。数Bでは、ベクトルは必ず出題され、その他、数列の和に関する問題が多く出題されています。そして、数IIIからは、極限計算、定積分計算の出題が多く、数Cからは、行列の出題が目立ちます。

続いて2大問についてですが、微積分の総合問題で11年はマーク式に移行。08年~10年までの傾向を見てみると、①分数関数の変曲点、接線、X軸回り、Y軸回りの回転体の体積。②関数方程式(極限值、導関数の定義、商の微分)。③パラメータ表示関数の概形、加速度の大きさ、道のり、X軸回りの回転体の体積。アステロイドの微分、面積、接線と両軸とで囲まれる部分の面積の最大。この様に1題の中に数IIIの微積分の様々な分野が出題されています。

テクノ・シリーズでは、東邦の出題傾向に沿い、基本~標準レベルの問題を取りこぼさないように速習し、前半は小問の演習を通して、「本試験10問中9問の正答」を目指すための得点力を、後半は微積分総合問題・図形問題などの解答力を育成していきます。

東邦化学特講

時間は2科目120分で、問題レベルは、私立医学部としては標準ですが、制限時間に比べ、とにかく問題量が多いのが特徴です。小問マークが30題もあり、さらに2011年度からマーク方式に移行したことにより、時間はかなり不足気味になると思われます。ちなみにかつてのマーク型には、単位についての問題や笑気ガス、必須アミノ酸、含硫アミノ酸、プリン塩基、ビタミン、色素、N原子を含む化合物、抗菌剤、アルギニンなど、広く浅い細かい知識が求められています。

理論・無機化学および有機化学の各分野から出題されていて、全般から幅広く、基本的なものから細かな点まで、多種多様な形で出題されています。しかしながら、難問があるにせよ、大部分を構成する問題自体は、難しくはないので、75%程度は得点したいところです。そのための技術を、東邦テクノでは教授します。具体的には、①ケアレミススをなくすテクニック、②基礎的な問題を早くこなすスピード、③有名な有機物は全部覚える、などであり、これが完遂すれば、正規合格に一段と近づくことでしょう。

東邦生物特講

例年、大問で8~9題、小問で40問くらい。見直しの時間を考えると、1問にかかる時間は1分強というところでしょうか。選択とはいえ難問や時間のかかる計算問題、問題文が長いものも含まれており、かなりやっかいなことには間違いありません。他の医学部同様に動物生理学が多く(特に神経系)、遺伝もよく出ます。その反面、植物生理はほとんど出題されていません。そして最近では、生態学の出題頻度が高くなっています。問題の内容から見てみましょう。遺伝は典型的、知識問題は進化以外は標準的です。ですが、医学生理学と分子生物学系の考察問題はかなり難しい。Gタンパク、インスリンの分泌機序・グルカゴンの作用機序・膜脂質の組成、GLUT、モータータンパクなど、ふつうは学習しないテーマの考察問題も出題されています。国公立大学の過去問の流用と思われる問題も少なくはなく、これらは覚えるだけの学習態度ではとても太刀打ちできません。「なぜこうなのか」という深い学習態度と、複雑な生物現象を説明している文章の迅速な読解が要求されているといえます。

担当講師より一言: 受験で最も重要なのは過去問演習ですが、そのとき、例の赤い問題集の解答解説に?を感じた人はいませんか。本講座に参加すると門外不出の本当の解答を得られます。

東邦物理特講

大問の数は一定していませんが、小問数は毎年25題前後で推移しています。全分野からまんべんなく、基本~標準レベルの問題が出題され、試験時間に対して問題量が多いのが特徴です。

時間をかければみんなができる問題であるため、まず基本を固めた後に、基本~標準的な問題の演習を繰り返し行い、スピードと正確性を身につける訓練を実施します。

出講講師 当校主宰である三輪代表をはじめ、「合格請負人」と称されるアドバンススーパーコースの講師で構成されています。
受講者特典 年明けに実施される医大別直前ゼミ「東邦予想模試III」(16時間)に無料で出席できます。
一次合格時には二次試験対策を実施します。
小論文に関しては御相談下さい。



埼玉医科大学
進学
野崎郷くん

三輪伸之
代表

東京慈恵会
医科大学進学
小武海信之くん

日本大学医学部進学
中島翔吾くん

東邦医学部テクノシリーズ スケジュール

講義演習ステージ(年内)

1st Stage 12月15日(木)~12月17日(土)	
9:30~12:40	——
13:30~16:40	——
17:00~20:10	東邦英語特講 I
2nd Stage 12月19日(月)~12月21日(水)	
9:30~12:40	——
13:30~16:40	東邦化学特講 I
17:00~20:10	東邦英語特講 II
3rd Stage 12月22日(木)~12月24日(土)	
9:30~12:40	——
13:30~16:40	東邦数学特講 I
17:00~20:10	東邦化学特講 II
4th Stage 12月25日(日)~12月27日(火)	
9:30~12:40	——
13:30~16:40	東邦生物特講 I 東邦物理特講 I
17:00~20:10	東邦数学特講 II
5th Stage 12月28日(水)~12月30日(金)	
9:30~12:40	——
13:30~16:40	東邦生物特講 II 東邦物理特講 II
17:00~20:10	——

テクノステージ(年明)

1月3日(火)	
9:15~11:15	東邦数学テクノ I
11:30~13:30	
14:15~16:15	東邦生物・物理テクノ I
16:30~18:30	
1月5日(木)	
9:15~11:15	東邦数学テクノ II
11:30~13:30	
14:15~16:15	東邦生物・物理テクノ II
16:30~18:30	
1月6日(金)	
9:15~11:15	東邦英語テクノ I
11:30~13:30	
14:15~16:15	東邦英語テクノ II
16:30~18:30	
1月7日(土)	
9:15~11:15	東邦化学テクノ I
11:30~13:30	
14:15~16:15	東邦化学テクノ II
16:30~18:30	
1月8日(日) 東邦予想模試 I	
9:15~11:15	英語予想
11:30~13:30	数学予想
14:15~16:15	化学予想
16:30~18:30	生物/物理予想
1月9日(月) 東邦予想模試 II	
9:15~11:15	英語予想
11:30~13:30	生物/物理予想
14:15~16:15	化学予想
16:30~18:30	数学予想

※スケジュールは変更される場合があります。
ご了承ください。

申込要項

1. 下記申込書に必要事項を記入して、提出してください(郵送・Faxでも結構です)。定員になり次第締め切ります。
2. 申込書提出後学費請求書を郵送いたします。
3. 受講料金 345,000円(税込)
72指導時間+テクノシリーズ32時間=計104時間
4. 受講料金を下記の口座にお振込ください。

三井住友銀行 渋谷駅前支店
普通預金口座 口座番号:2740761 口座名:カ)ウイングダム

5. テキストは12月初旬より順次配布いたします。
6. お振込みいただきました受講料金は理由の如何にかかわらず、返金できませんので、ご了承ください。

東邦医学部テクノシリーズ 受講申込書

氏名				男・女
住所	〒			
在籍・ 出身高校			卒業年度 (卒業生のみ)	
連絡先 Tel			選択科目いずれかに○ 化学・生物・物理	

郵送・FAX・TEL等でお申込ください。

TEL 03-5469-8578
FAX 03-5469-8587

